

長崎県佐世保市/総合防災システムの導入

事例概要

災害時に迅速かつ的確な災害対応を行うため、①被害情報や避難所情報等の迅速な収集・一元管理、②気象防災情報を活用した避難情報の発令判断支援、③避難所開設や避難情報等の一括配信等の機能を有した総合防災システムを導入。

導入前

●令和2年台風10号で過去最大の5,600人が避難。その際に避難者数や避難所の空き状況の把握が困難であった。また各対策部で対応している被害情報の収集に時間を要し、対策本部での情報共有や対応決定に苦慮した。

防テクPFでマッチング

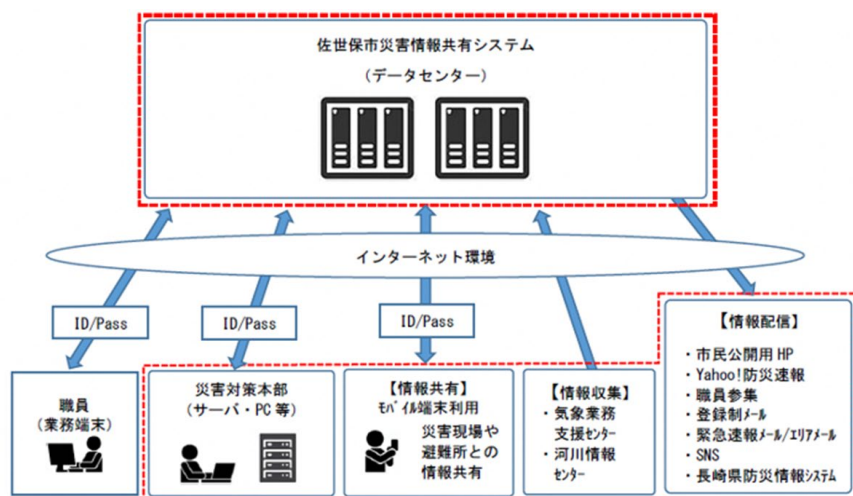
●防テクPF活用メリット：

防テクPFマッチングセミナー・個別相談会に参加して全国の自治体で導入実績のあるベンダーの技術情報等を効率良く収集できた。

●スケジュール：

令和4年2月防テクPF第3回マッチングセミナーの個別相談会に参加、個別相談会参加企業やその他の企業と必要な機能の検討やRFIを実施。令和4年8月に構築業者の公募を実施し、10月に業者決定、令和5年6月よりシステムを稼働。

システム概要



●主な機能

- ・本部設置
- ・避難所開設、避難者数
- ・避難情報発令
- ・被害情報登録
- ・備蓄物資管理
- ・被害取りまとめ
- ・市民向けポータルサイト
- ・一括配信(SNS、ポータルサイト等)
- ・メール配信 (防災メール、職員参集配信等)

●サービスの活用状況：

- ・令和5、6年に発生した台風・大雨時の災害対応で活用。GIS上で発令区域とキキクルを重ねて、避難情報発令区域を抽出。区域を指定して避難情報を発令することが容易。
- ・各避難所で避難者数や混雑状況を入力するとポータルサイトに自動表示、県システムへもデータ連携。

防テクPFの貢献

個別相談会でニーズにマッチするベンダー(自治体で導入実績のあるベンダー)を効率的に探せた。ベンダーから直接話を聞くことができたためシステムのデモがスムーズであった。総合防災システムの導入により、効率的な情報収集・発信等が可能になり、迅速かつ的確な災害対応につなげることができた。

